第127回国立天文台運営会議議事抄録

日　時：2026年1月23日（金）11時00分～15時40分
場　所：国立天文台大会議室及びオンライン（Zoom）
出席者（会場）：吉田（議長）、兒玉（副議長）、生駒、鵜澤、大向、栗木、河野、齋藤、
　　野村、深川、本間、山田、米倉、渡部 各委員
出席者（Zoom）：荒井、臼田、小林、住、田越、宮﨑、横山 各委員
欠席者　　：なし
オブザーバー　：土居台長、玉井部長

【サイエンスレポート】
次のとおり、研究成果の報告があり、質疑応答を行った。
「初期宇宙で見つかった「超高温の星工場」～高温の星間塵が示す初期銀河の急速な成長～」
（名古屋大学大学院理学研究科 教授 田村 陽一）

【台長等諸報告】
１．研究教育職員等の人事異動について
土居台長から、資料１に基づき、研究教育職員等の人事異動について報告があった。

２．台長諸報告
土居台長から、資料２に基づき、予算状況、天文フロンティア議員連盟総会、TMT関連の状況、国際連携について報告があり、質疑応答を行った。

３．次期執行部体制について
土居台長から、資料３に基づき、2026年4月1日からの国立天文台執行部体制について報告があった。また、現体制における成果や進捗状況及び次期体制における抱負等を次回に土居台長から述べることとした。

【議　事】
１．前回議事抄録について
資料４に基づき、第126回議事抄録について内容を確認した。

２．研究教育職員等の人事について
（１）年俸制職員（特任教員）の選考について
鵜澤委員から、回収資料１に基づき、スペースイノベーションセンター特任教授の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

スペースイノベーションセンター 特任教授　１名

続いて齋藤委員から、回収資料２に基づき、アルマプロジェクト特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

アルマプロジェクト 特任助教　１名

続いて野村委員から、回収資料３に基づき、科学研究部特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとし、辞退者が出た場合に備えて、さらに１名の採用候補者を選定した。

科学研究部 特任助教　１名

（２）クロスアポイントメントについて（審議）

野村委員から、資料５及び回収資料４に基づき、鹿児島大学とのクロスアポイントメント延長について、続いて齋藤委員から、資料６～７及び回収資料５～６に基づき、山口大学及び岐阜大学とのクロスアポイントメント実施について説明があり、質疑応答の後、いずれも承認した。

（３）職務確認書について

土居台長から、資料８に基づき、次の者にかかる職務確認書の報告があり、質疑応答を行った。

2025年11月1日付け着任 ＴＭＴプロジェクト 教授　１名
2025年11月1日付け着任 先端技術センター 准教授　１名
2025年12月1日付け着任 水沢ＶＬＢＩ観測所 准教授　１名
2025年12月1日付け着任 天文情報センター 講師　１名
2026年1月1日付け着任 チリ観測所 教授　１名

３．名誉教授候補者の推薦について

鵜澤委員から、回収資料７に基づき、続いて吉田議長から、回収資料８に基づき、名誉教授候補者の推薦について審査報告があり、可否投票を行った結果、２名を名誉教授候補者として自然科学研究機構へ推薦することを承認した。

４．客員教授等の選考について

野村委員から、資料９及び回収資料９に基づき、2026 年度における国立天文台客員教授等の受入にあたって、研究交流委員会における選考を通過した候補者の研究課題や受入先等に関する説明があり、次のとおり承認した。

国内客員教授　４名
国内客員准教授　１名

５．連携教授等の称号付与について

野村委員から、資料10及び回収資料10に基づき、連携教授等の称号付与について、候補者の研究計画や受入先等に関する説明があり、質疑応答の後、次のとおり承認した。

連携准教授　１名

６．報告事項

（１）専門委員会報告

・ 研究交流委員会

野村委員から、資料11に基づき、2025年度第1回及び第2回研究交流委員会（2025年7月23日、2025年12月1日開催）における議事について報告があった。

（２）NAOJフェロー応募者数の推移について

野村委員から、資料12に基づき、NAOJフェロー応募者数の推移について報告があり、質疑応答を行った。

（３）今後の開催日程について

資料13に基づき、次回の開催日程を確認した。

７．将来計画策定について

科学戦略委員会の本原委員長から、資料14-１～14-４に基づき、第Ⅳ期第13回から第14回までの科学戦略委員会及び第11回から第12回までのサイエンスロードマップ策定委員会（2025年10月22日、2025年11月26日開催）における議論について報告があり、質疑応答を行った。続いて、資料14-５に基づき、2025年12月2日～4日に開催された2025年度国立天文台将来シンポジウムに関する報告があった。また、齋藤委員から、資料14-６に基づき、実施計画の策定手順について説明があり、質疑応答を行った。

以上